

# 令和6年度 夏季研究集会 特別活動

- 1 日時 令和6年8月1日(木) 10:00～
- 2 会場 見付交流センター 大会議室
- 3 内容 実践発表 「生徒主体の体育大会を目指して～体育大会プロジェクトの発足と実践記録～」  
発表者 磐田市立城山中学校 教諭 前澤快知
- 4 講師 静西教育事務所 教育主査 萩田慶彦様
- 5 様子



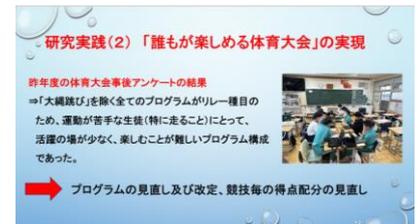
## (1) 研究発表

「人間関係形成・社会参画・自己実現」といった学習指導要領に示されている3つの資質・能力を育むためには、互いのよさや可能性を発揮し、「主体性の向上」を目指す教育活動を取り入れるべきであり、本実践では、全校からの立候補を募った「体育大会プロジェクト」を発足させた。

※プロジェクト活動…生徒が自主的・実践的に取り組む活動という位置付けである。

「誰もが楽しめる体育大会」を運営するために、

- ①計画(種目、ルール、配点の変更)
- ②校長先生や職員会議での提案
- ③Google クラウドルームを用いて全校への周知
- ④体育大会当日の運営(開閉会式含む)



を生徒主体で行った。成果として、プロジェクト委員だけでなく、全校生徒の87.1%の生徒が体育大会における様々な活動に対して主体的に行動でき、主体性や達成感の向上につながった。

課題としては、プロジェクト委員だけでなく、全校生徒の意見をどう取り入れていくかが挙げられた。

## (2) グループ協議(20分×2回 同校種および異校種間で様々な意見交換を実施)

- ・実践発表に対する意見交換
- ・生徒主体の活動について心掛けていること、実践していること
- ・各校の情報共有



## (3) 指導講評

- ・子どもを信じ任せてみる。子どもはもともと「自ら学ぶ力」をもっている。子どもは可能性の塊。
- ・子どもたちにどこまで任せるか→どうやって時間を確保するか。どこまで見通しを持たせるか。
- ・特別活動を充実させると…自己有用感、学級経営の充実、道徳教育の充実 etc.多くの教育的効果がある。
- ・特別活動はキャリア教育の要である。
- ・「人間関係形成・社会参画・自己実現」の3つの資質・能力を生かして、学習の在り方を検討していく。
- ・児童、生徒の自発的活動を教師が「褒める・認める・価値付ける」ことが非常に重要。
- ・主体性→集団討議による合意形成、個々の意思決定をしていく活動。  
集団思考を生かした個々の意思決定をしていく活動。
- ・発達的な特質を踏まえた指導→小中の円滑な接続が求められる。



御参加ありがとうございました。2学期からの実践に活用していきましょう。